



市長の

しおかぜ 通信

今年も、6月17日から新山地区を第一回目としまして「巡回市長室」を始めます。

先日、それぞれの地域で、地域のために活動されている方々と「協働のまちづくり」を進めていくための契機として、「まちづくりフォーラム2007」を開催し、約100名もの方々にご参加くださいました。講師は、安芸高田市川根振興協議会会長の辻駒健二さん。住民主体のまちづくりのリーダーで、その地域コミュニティの活動は全国的に注目されています。「地域の自立・絆・気づきのために」と題して、二時間にわたる熱心な講演があり、私も皆さんと席を並べて聴講しました。

地域の悩みや課題を地域の人たちで何時間も話し合い、その繰り返しの中で、「地域でできること」、「行政と協力して解決すること」、「行政が行うこと」に課題を整理するように変えていったお話。『やりたいけれど自分達だけではできないなあ』と話していたホテル祭りを『やってみよう!』と住民自らがアイデアを出し、汗を流した体験談。そして、ホテル祭りを通じ、多くの人々がまちを訪れるようになり、道路改良が必要になったこと。道路の案や用地問題も、住民でできるところまではおこなって、そこから先は行政にバトンタッチ、というお話など、「要求型」から「提案型」の地域づくりへの転換を強く訴えられました。私は、笠岡市を住みよいまちにしたという気持ちをもたれている多くの市民の皆様とともに活動していくこと、協働を進めることが、笠岡市の発展にとって大切であると改めて強く感じました。

笠岡市は、「笠岡市の自治運営」いいかえれば「まちづくり」の基本となります。「自治基本条例」の策定を進めています。市民の皆様と行政との協働のまちづくりのルールや理念を定めていきますが、巡回市長室においても市民の皆様と共に、「協働のまちづくり」について、膝をつき合わせて話し合いたいと思っています。

蒸し暑い日が続きますが、これから夏本番を迎える季節となります。皆様には、体調に十分留意され、夏祭りや花火大会など、この時期ならではの行事をお楽しみいただきたいと思っています。

笠岡市長 高木直矢

のびのびキャンパス岡山

ふるさと再発見を目的に、「のびのびキャンパス岡山」では市町村広域連携講座として「県西部の文化」講座を開催します。

対象：県内に在住・在勤の
定員：40人（多数の場合は初回の受講希望者を優先）
申込期限：7月31日（火）
※申込書は、生涯学習課、市

申込み・問合せは
〒七一四-0081
笠岡市笠岡一八六六一
生涯学習課
☎2153

日	時	内容・講師
8月29日(水)	9:30~12:00	浅口市の文化について 「寄島の文化と歴史」 講師 浅口市文化財保護委員 花房 泰志
	13:00~15:00	里庄町の文化について 「大原焼のながれ」 講師 大原焼殿山窯 六代目窯元 小野 正一
9月5日(水)	9:30~12:00	笠岡市の文化について 「真鍋島と飛鳥を巡る」 講師 笠岡市教育委員会生涯学習課 学芸員 安東 康宏
	13:00~15:00	
9月12日(水)	10:00~12:00	井原市の文化について 「中世夢が原を訪ねて」 講師 中世夢が原館長 川上 岩男
	13:00~15:00	井原市の文化について 「天文講座」 講師 美星天文台長 綾仁 一哉
9月19日(水)	10:00~12:00	矢掛町の文化について 「羽無の里の金毘羅参り」 講師 吉祥寺住職 土本 祥善
	13:00~15:00	岡山市指定史跡 「大通寺庭園」 講師 大通寺住職 柴口 成浩